

2 地域の元気

(1) 地域の活力の創造

① 地域の個性を生かした多彩な地域プロジェクトの推進

◎コウノトリ自然博物館構想推進事業

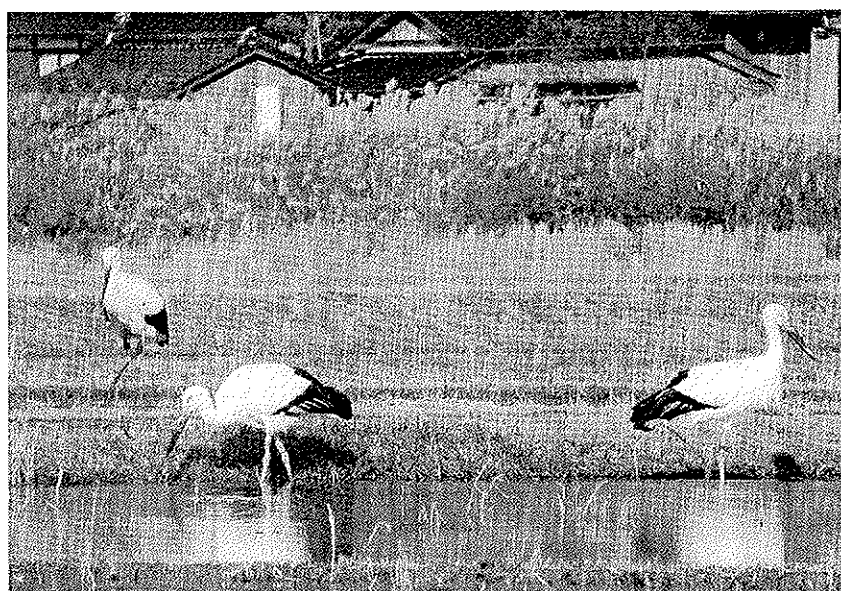
3,000千円

コウノトリ自然博物館構想の推進に当たり、コウノトリ翔る郷づくりに向けた人材育成をはじめとする事業を展開

○コウノトリ学講座

○コウノトリ翔る地域づくりを支援する研究機能の充実

○コウノトリ野性復帰にかかる資料整理



◎コウノトリの野生化に向けた取組の促進

14,047千円

コウノトリの野生化に向けた放鳥の検証及び評価

○放鳥の検証及び評価

○野生馴化訓練の実施

○普及啓発・環境教育の促進

出前講座の実施、環境教育プログラム開発等

◎コウノトリファンクラブの運営

3,453千円

コウノトリの野生復帰を推進するため、引き続き、応援者の拡大に努め、コウノトリの野生復帰の取組を支援する会員を募り、ファンクラブを運営

○会 長：柳生博

○会 員 数：一般会員 1,275（人）（年会費1,000円／口）

（19年10月現在） 賛助会員 46（社、団体）

○会報誌の作成（年4回）

○会員募集パンフレットの作成

◎丹波恐竜化石発掘調査事業の推進

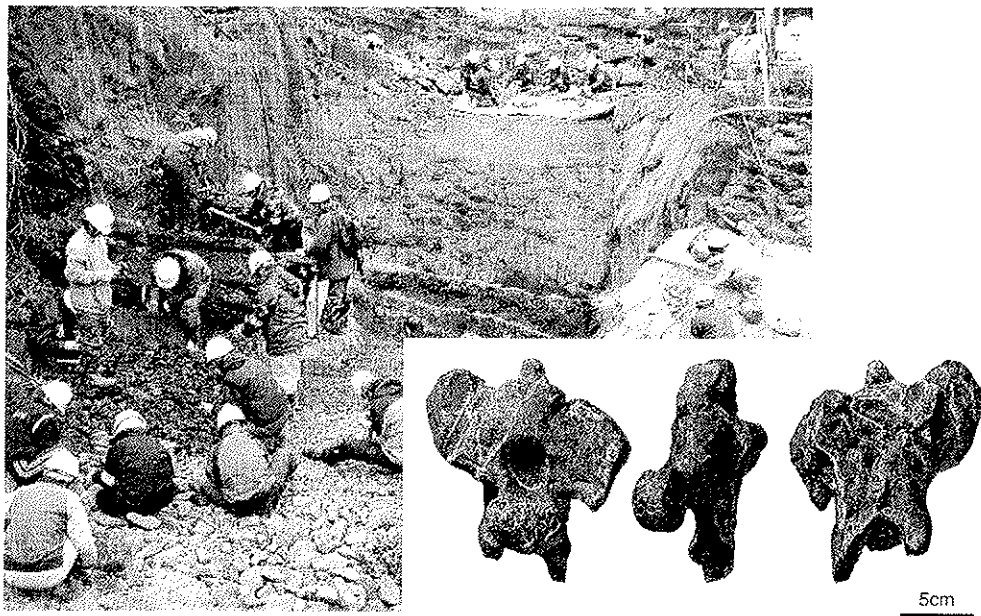
49,400千円

18年8月に丹波市で発見された恐竜化石について、発掘調査や化石クリーニング作業等を実施

○発掘工事、ボランティア等による発掘作業、発掘現場警備

○残土岩石からの化石探索リサーチ・化石解析、篠山層群周辺調査、海外共同研究

○研究員、作業員、ボランティア等による化石クリーニング作業 等



【恐竜化石と発掘現場】

◎旧宝塚音楽学校の保存・利活用への支援

180,567千円

旧宝塚音楽学校を県民共通の財産として保存し、ミュージアム機能等を備えた文化発信拠点として利活用

○事業主体：宝塚市

○負担割合：県1／2、市1／2

（宝塚市が実施する国庫補助事業の市負担の1／2を助成）

- 旧音楽学校整備：敷地面積 約1,000㎡（宝塚市が整備）
- 公園整備：敷地面積 約3,800㎡（宝塚市が整備）
- 提供公園：敷地面積 約900㎡（阪急電鉄より提供）
- 20年11月オープン予定

◎引原ダムにおけるカヌーによる地域づくりの推進 54,170千円

のじぎく国体のカヌー競技を契機として、宍粟市と一体となって引原ダムをカヌーの“メッカ”（カヌー競技の場、自然体験・レクリエーションの場）とすることにより、地域の活性化を促進

○20年度事業

- ・右岸整備（立木伐採）、階段状観覧席の設置 [事業主体：県]
- ・クラブハウス・艇庫の実施設計、浮棧橋整備 [事業主体：宍粟市]

◎地域経済活性化への支援 3,130,200千円

地域中小企業の活性化のため商工会・商工会議所等が行う地域経済活性化事業を支援

- 地域おこし事業（特産品開発、地域ブランド創出 等）
- 人材育成事業（経済問題研修会、講習会 等）
- 広域・連携活性化事業（大学、企業との連携による研究 等）
- 経営改善事業（創業・第二創業支援、経営革新支援 等）

② 商店街の活性化の推進

◎商店街の活性化事業の実施 69,000千円

商店街のにぎわい創出、魅力づくり、地域コミュニティ機能向上を一体的に促進するため、先導的な複数の取組や地域と一体となったイベント等を支援

○先導的活性化事業 (49,000)

まちづくりと一体となった先導的な活性化事業を支援

- ・一般枠：補助率1/2（限度額3,000千円/年（最長2年））

新規1件、継続2件

- ・特色枠：特にその地域の課題に対応し、商店街を特色化する継続的な事業
補助率 1 / 2 (限度額：3,000千円/年 (最長 3 年))
新規 2 件、継続 8 件

○地域連携イベント支援事業 (元気づくり事業) (20,000)

地域と一体となって実施する地域参加型イベント事業を支援

- ・補助率：1 / 4 (限度額400千円)
- ・補助件数：50団体

◎ひょうごの元気商店街創出総合支援事業 1,800千円

商店街が地域の商工会議所・商工会、まちづくり会社等と共同で行う商圈特性・地域資源の調査・分析や活性化戦略の策定、具体の事業実施を支援

○実施手法

- ・地域特性等調査 (商店街、商工会議所、まちづくり会社等による地域特性調査)
- ・調査結果の分析等 (商圈特性の把握、商店街の潜在的ポテンシャルや地域資源の調査・分析)
- ・プログラム作成 (地域特性を踏まえた戦略構築、具体の取組方策)
- ・具体の取組 (既存の国・県補助金等を活用して活性化)

○実施箇所：2 か所

○補助率等：県 1 / 2、市町 1 / 4、地元 1 / 4、限度額900千円

◎まちなか商業再活性化事業 (大型店出店対策事業) の実施 15,500千円

大型店出店に伴い影響を受けると認められる商店街を市町とともに支援

○補助対象：大型店出店対策のプランづくり
プランに基づく大型店対策事業

○費用負担：県 1 / 3、市町 1 / 3、商店街等 1 / 3

○限度額：7,000千円/年 (1市町3年間を限度)

◎空き店舗の活用支援

29,649千円

商店街の活性化を図り、商店街等が実施する不足業種解消や機能強化等の取組を支援

[不足業種の解消]

○テナント・ミックス計画策定支援

必要な業種・業態の適正配置を図る計画策定を支援

- ・補助率：1／2
- ・補助限度額：1,000千円
- ・件数：1件

○新規出店支援事業

新規開業者に対し、店舗等賃借料等を補助

- ・補助率：1／3
- ・補助限度額：1,500千円以内（1年目）、500千円以内（2年目）
- ・件数：12件（新規）

[地域社会での商店街の機能強化]

○活性化支援事業

地域住民の生活利便を支援する事業等を補助

- ・補助率：1／2（市町1／4）
- ・補助限度額：3,000千円（1年目）、1,500千円（2年目）
- ・件数：2件（新規）

(2) 小規模集落の再生

① 小規模集落対策の推進

◎新小規模集落元気作戦の展開

20,000千円

人口が減少し、高齢化が進んだ小規模な集落を対象に、市町と協働した集落再生に向けた住民の主体的な取組を支援

○対象集落：高齢化率が概ね40%以上、50世帯以下の集落で、集落の再生に取り組む意欲を持つ小規模集落からモデル集落を選定

○実施方法：3年間のモデル事業として実施

<3年間のモデル事業実施期間の展開>

【準備段階】	【第1段階】	【第2段階】	【第3段階】
集落住民の主体的な話し合い・合意形成	パートナー探し、パートナーとのマッチング	交流インターンシップの実施	事業の展開
アドバイザーの派遣			

○アドバイザーの派遣

まちづくりや農業の専門家をアドバイザーとして登録し、集落に派遣

○都市－集落交流マッチング事業の実施

交流希望集落のマッチングを行う交流案内所を全県及び地域に設置

・設置箇所：全県1か所、県民局ごとに1か所

○都市－集落交流インターンシップ事業の実施

都市農村交流バス等を活用した交流活動の実施

○交流拠点の整備等の支援

継続的な取組が進みはじめた集落の先行的な交流拠点整備等を支援

・負担割合：県1/2（上限3,000千円）、地元1/2

(3) 県民局の主な事業

① 神戸県民局

◎六甲フィールド・ミュージアムの創造 5,708千円

○新「環境フォーラム I N神戸」の開催

G 8 環境大臣会合の開催（20年 5 月）に併せて、六甲山における人と自然の共生や緑の再生の取組等を内外にアピールするフォーラムを開催

・基調講演、パネルディスカッション（テーマ：身近な自然と都市との共存）等

○六甲摩耶・有馬ツーリズムの振興

六甲山上事業者、交通事業者や神戸市と連携した積極的な観光 P R の展開

○「明石川タコピー倶楽部」の推進

六甲山系西側から明石市を經由し明石海峡に流れる明石川水系において、住民の参画と協働による川づくりとその利活用をより一層推進するための活動を展開

・学習活動（自然観察、勉強会）、愛護活動等

◎海の文化と歴史に彩られたまちの魅力づくり 3,933千円

○県庁発祥地記念事業の推進

県庁発祥の記念地（兵庫津）から始まる兵庫県の歩みを示し、歴史に触れ、集い、学ぶ施設として、初代県庁舎を復元整備するための基本構想を策定

○新兵庫県大型観光交流キャンペーンに向けた P R イベント等の実施

○新神戸ブランドの連携によるツーリズムの推進

○拡「明舞まちづくり広場」における参画と協働のまちづくり

◎新しい“神戸ブランド”の発信 26,360千円

○神戸ルミナリエの開催への支援

○「スイングナイト in Kobe」の開催

○新神戸フルーツの里づくり事業

神戸市西区押部地区を、新たな果樹産地としてブランド化し、地産地消を推進するため、糖度計の活用により良質な果実生産を推進

- ② 阪神南県民局
- ◎阪神なぎさフェスタの推進 3,495千円
 環境先進都市づくりの取組や地域の魅力を県内外に発信
 ○阪神なぎさフェスタ・リレーイベントの実施
 ○阪神なぎさ回廊ウォーク・こども海上ウォッチングの実施
- ◎商業・観光の活性化による地域のにぎわい再生 3,150千円
 ○新ドラマティック阪神南再発見事業の実施
 多様な個性を有する阪神南地域の知名度アップや来訪者増加を図るため、地域の魅力を県内外に発信
 ・各市の魅力を生かしたドラマティックなストーリー仕立ての観光モデルコース策定
 ・観光モデルコースを盛り込んだガイドマップの作成
 ○阪神南地域活性化集客支援事業の実施
 ○ボランティアガイド養成講座の開催
- ◎個性あふれる阪神芸術文化の振興 4,602千円
 ○阪神南地域ループバス実証運行事業の実施
 ツーリズム振興等を図るため、地域内の美術館・酒蔵等を結ぶループバスの実証運行を実施
 ○地域アーティストの育成支援
 ・「ミュージックコンテスト甲子園」の開催
- ◎ものづくり産業の活性化 8,200千円
 ○21世紀阪神南リーディングテクノロジー発掘・創出支援事業の実施
 ○ものづくり人材バンクの設置
- ◎阪神南“家庭再生”の推進 1,710千円
 ○松阪神南“きずなフェスタ”（仮称）の開催
 地域の資源や特色を生かしつつ、親子・家族などお互いの絆と交流を深めるイベントを開催
 ○スナッグゴルフによる青少年の健全育成

③ 阪神北県民局

◎北摂地域の魅力の発信

1,697千円

これまで掘り起こしてきた北摂地域の歴史文化を次代に継承

○北摂の魅力を語るつどい『北摂文化の今昔、そして未来へ』（仮称）

20年11月伊丹市内で開催予定（パネルディスカッション、特別講演）

○「阪神北地域魅力発信☆きらっとバス」の運行

20年9～11月実施（1回40人 6回予定）

○県民局で作成したデジタル教材の小中学校の授業における活用の促進

◎市民力による子どもの育成

2,167千円

高い市民力を活かして、すこやかな子育て支援や環境学習を推進

○「たくましい子どもを育てる金太郎プロジェクト」の実施

○「子どもを守るセミナー」（仮称）の開催支援

○都市近郊の豊かな自然を活用した環境学習の推進

○食の健康づくり「食育キッズ教室」の開催

学校・職域・地域が一体となった若年期からの健康づくりを推進

◎丸山湿原エコミュージアムの推進

699千円

地域住民の参画により、湿原の保全再生・環境学習の拠点モデルを目指した取組を推進

○湿原保全セミナーの開催支援

○丸山湿原エコミュージアム推進協議会（仮称）の発足支援

○啓発フォーラム（協議会発足記念行事）の開催支援

◎都市農業推進事業の実施

1,900千円

都市部における農業振興と農地の維持保全を図るため、本県の都市農業の特性を踏まえた支援のあり方等を検討

○都市農業検討委員会（仮称）の設置・運営

○楽農体験モデル園の設置

○都市住民に対する農業講座の開催、都市農業の情報発信

◎旧宝塚音楽学校の保存・利活用への支援（再掲P.86）

180,567千円

旧宝塚音楽学校を県民共通の財産として保存し、ミュージアム機能等を備えた文化発信拠点として活用

④ 東播磨県民局

◎「いなみ野ため池ミュージアム」の持続的展開 9,650千円

水辺環境の保全と再生、ため池・水路等の地域資源の活性化を図るための取組を展開

- いなみ野ため池ミュージアム運営協議会への自立支援
- 「水辺の楽校（仮称）開設プロジェクト」の試行
- 「いなみ野ため池ミュージアム」展示展開プランの企画開発

◎「産業元気東播磨を目指して」ものづくりの推進 6,433千円

地域の産業集積の強みを活かしたものづくりを推進

- 「東播磨ものづくり交流会」の活動支援
- 新製品・新技術の開発支援
- 「ものづくり」ツアーの開催等による産業ツーリズムの推進
- 地域活性化イベントへの支援

◎地産地消／旬を活かした食育の推進 5,373千円

都市近郊農業の魅力を活かした地産地消と東播磨型「旬を活かした食育」を推進

- 生産農家の新品種導入など新たな意欲的取組への支援
- 生産者と消費者の交流を進める直売所の魅力アップへの支援
- 「食育トライやるひろば」など地域における食育の普及促進
- ウチムラサキ再生による水産業活性化対策の推進

◎地域ぐるみ安全・安心対策の推進 2,926千円

地域の住民・団体・行政が一体となった防災、防犯、交通安全対策を推進

- 地域防災訓練等の実施
- 「安全安心ネットワーク交流大会」の開催等による地域防犯・交通安全対策の推進
- 地域住民全体で見守り育てていく「ほめて育てる東播磨っ子」の推進

◎加古川の魅力体験、自然・環境学習の推進 5,500千円

県下最大の河川である加古川の魅力体験、自然を愛し環境を守る学習活動の推進

- 加古川マラソンコース利活用の促進
(兵庫県小学生駅伝競走大会、兵庫県郡市区対抗駅伝競走大会の開催)
- 「加古川クリーンアップ&エコ・ウォーク」の推進
- 加古川流域「森・川・海再生プラン」の推進

⑤ 北播磨県民局

◎交流による地域の元気づくり 6,726千円

○北はりまの魅力情報の発信

- ・㊦まち・むら交流促進事業の推進

都市部での交流拠点づくり、都市部への情報発信等

- ・㊦JR加古川線を活用した沿線地域活性化

○地域の特色を生かした交流機会の創出促進

- ・北はりま田園空間博物館交流推進事業の実施
- ・㊦「R427の日」ロードフェアの開催

◎共に支え合うやさしい地域づくり 1,650千円

○健康ですこやかな地域づくり

- ・㊦高齢者等うつ・自殺予防体制づくりへの支援

○元気な子どもを育む地域づくり

- ・北播磨“いきいき子育て”サポート対策の推進

◎自然と調和した安全・快適な地域づくり 3,622千円

○安全・安心のまちづくり

- ・“ストップ・ザ・交通事故”安全・安心の北播磨づくりの推進
- ・「1.17は忘れない」地域防災訓練の実施

○自然環境の保全と循環型の社会づくり

- ・地域特性を生かした環境学習・教育の推進
- ・不法投棄を許さない地域づくりの推進

◎地域産業の元気づくり 7,415千円

○地場産業の活性化

- ・㊦地場産業“元気発信”事業の推進

産地PRイベントの開催、産地製品の展示・即売会等

○農林業・農山村の活性化

- ・㊦北播磨元気な「農」づくりの推進

一集落一工房づくりの推進（特産品づくりの推進）、農産物直売所の運営研修等

- ・㊦北播磨の酒米「山田錦」の需要拡大対策

- ・㊦北播磨地域集落営農組織化の推進

⑥ 中播磨県民局

◎活気とにぎわいのあるまちづくりの推進 6,157千円

- 菓子博開催に併せた特産品等のPR
- 新菓子博関連イベントの開催支援
- 姫路市中心市街地商店街の再活性化支援
- 新「国際ビジネスフェアin姫路」の開催支援

◎「銀の馬車道」を活用した交流・ふれあいづくりの推進 8,600千円

- 「銀の馬車道」ツアーバスの運行
- 「銀の馬車道」リレーイベントへの支援
- 「銀の馬車道」関連商品の育成に向けた支援
- 新「銀の馬車道馬宿り」の整備の促進

◎人と自然が共生する暮らしづくりの推進 7,050千円

- 中播磨地域廃食料油リサイクルモデルシステムの推進
- 自然を活用した環境学習の推進
- 「播磨ふるさとの料理」を活かした食育活動の推進

◎共に支え合う安全・安心の地域づくりの推進 15,926千円

- 地域医療確保対策の推進
- コミュニティづくりの推進
- 高齢者見守り運動の推進

⑦ 西播磨県民局

◎西播磨「水と緑の郷づくり」構想の推進 3,289千円

これまでに培われた安全安心な食材の提供、食育の推進等を定着・発展させる取組を实践

○西播磨「水と緑の郷づくり」構想推進事業

○食と農を結ぶクラスター事業

「食と農を結ぶ実践会議」の開催、食と農を結ぶ実践モデル地区（実践団体）の育成

○安全安心な食の提供システム事業

○農産物加工グループ起業化への支援

○「西播磨ふるさとの風景づくり活動」への支援

◎“西播磨”環境学習プログラムの展開 3,673千円

西播磨地域の豊かな自然を舞台に、体験し、発見し、学び、実践することにより、人と自然が共生する美しい西播磨づくりを推進

○参画と協働によるホタル復活作戦の展開

○森・川・海再生プランの推進（西播磨の森・川・海探検隊）

○環境学習・実践の機会の提供（西播磨エコプレーヤー塾）

○「西播磨環境学習プログラム推進員」の設置

◎引原ダムにおけるカヌーによる地域づくりの推進（再掲P.87） 54,170千円

のじぎく国体のカヌー競技を契機として、宍粟市と一体となって引原ダムをカヌーの“メッカ”（カヌー競技の場、自然体験・レクリエーションの場）とすることにより、地域の活性化を促進

◎新型コロナウイルス等の検査体制の拡充整備 2,000千円

遠隔地における検査室のあり方を検討するモデルケースとして、新型コロナウイルス等に対応した検査機器（リアルタイムPCR装置）を導入し、その効果を検証

⑧ 但馬県民局

◎拡コウノトリと共生する地域づくりの推進 10,331千円

○新コウノトリと共生するビオトープづくりの推進

- ・設置箇所：放鳥拠点周辺等 8か所

○新「コウノトリシンポジウム」の開催

- ・開催時期：20年5月22日
- ・開催場所：豊岡市民プラザ

○コウノトリ舞い降りる田んぼづくりの推進

○コウノトリ自然博物館構想の推進

○コウノトリファンクラブ事業の推進

◎拡但馬・四季彩ツーリズムの推進 12,456千円

○新destinationキャンペーン（DC）但馬誘客支援事業の推進

- ・DC期間（21年4月～6月）に向けた誘客強化のための取組への支援

○新山陰海岸ジオパーク（世界地質公園）推進事業の推進

- ・ジオパーク認定に向けた「山陰海岸ジオパーク推進協議会」への支援等

○拡たじま田舎暮らし推進事業の推進

- ・たじま田舎暮らし情報センターの運営と出前相談の実施
- ・「たじま田舎暮らし推進会議」の設置、田舎暮らし実践者ネットワーク会議の開催

○「鉱石の道」魅力発信事業の推進

○コウノトリ翔る但馬まるごと感動市の開催

- ・開催時期：20年11月上旬
- ・開催場所：県立但馬ドーム

◎拡地域産業の育成・活性化 1,190千円

○新広域観光ネットワーク事業の推進

- ・観光関係者による「観光ビジネスネットワーク会議」の開催
- ・京都府・鳥取県と一体となった広域観光ネットワークづくりの推進

○企業誘致促進事業の推進

- ・県民局長等による首都圏企業等へのトップセールスの実施
- ・「まいどおおきに博」での但馬企業のPR（11月5日～6日 東大阪市）

○但馬産業大賞の選定

⑨ 丹波県民局

◎新「丹波の森構想」の評価・検証 2,500千円

○丹波の森構想評価・検証委員会（仮称）の設置

- ・検討内容：「丹波の森構想」策定から20年間の住民、地域団体、民間事業者、行政等の取組が地域づくりにどのように活かされてきたかを評価・検証

- ・委員構成：15人程度（学識者、住民代表、地域団体代表、行（県民局・市）等）

○住民アンケート調査の実施

○評価・検証結果報告書の作成

◎拡たんばブランドの振興 2,078千円

○新丹波びっくり（big栗）再生プロジェクトの推進

○熟年講座「丹波黒大豆カレッジ」による栽培管理技術の伝承

○拡丹波大納言小豆の生産・消費拡大

○拡丹波山の芋無病種芋確保緊急対策

◎恐竜を活かした地域づくりの推進 11,044千円

○新恐竜化石を活かしたまちづくりシンポジウムの開催

○新丹波恐竜エコツアーの実施

○新丹波竜の里巡回バスの運行

○新丹波恐竜街道基本計画（仮称）の策定（たんば風景街道の推進）

◎たんばの森林保全と活用の推進 3,422千円

○拡企業と住民の協働による「企業の森づくり」

○丹波地域森林ビジネス創出への支援

- ・マーケットデータベースの構築

◎拡J R福知山線利便性向上対策の推進 1,897千円

○利便性向上「鉄道を活かしたまちづくり基本計画アクションプログラム」の実施

- ・JRとの技術検討会の実施

特急券一部助成社会実験に対する検証、短距離企画特急券の導入検討等

- ・アクションプログラムの推進母体の設立（県、丹波市、JR等で組織）

- ・「鉄道フォーラム」の開催等によるマイレール意識の醸成

⑩ 淡路県民局

◎新神戸淡路鳴門自動車道全通10周年記念地域事業の実施 1,000千円

記念事業の開催を支援するため、淡路の実行組織に構成員として参画し、地域事業の実施に要する経費の一部を負担

- ・あわじミュージックジャンボリー2008（20年4月5日(土)・6日(日)）
- ・明石海峡大橋淡路側塔頂体験ツアー（20年4月19日(土)・20日(日)）
- ・大鳴門橋うず潮ウォーク（20年5月17日(土)・18日(日)） 等

◎あわじ菜の花エコプロジェクトの推進 2,708千円

資源循環の先導的な取組として、菜の花を資源とした「資源循環型淡路島づくり」の実現を推進

○菜の花栽培の促進

○普及啓発イベントの開催

- ・新「菜の花エコプロジェクトひょうごフォーラムinあわじ」（仮称）の開催

環境大臣会合関連事業（20年5月開催予定）

- ・「菜の花エコフェスティバル」、「ナタネ収穫まつり」の開催

◎「都市と農村の交流による地域おこし」推進事業 2,020千円

淡路地域の活性化を図るため、都市と農村の交流人口の増加や淡路への定住促進のための条件整備・仕組みづくりについて研究会を設置し検討

◎あわじ歴史浪漫・風景街道づくりの推進 500千円

淡路固有の歴史文化等の風土資産を活かした多様で良好な道路景観の形成、観光空間としても魅力のある道づくり・地域づくりを推進

○島内向けのPR及び住民の気運醸成のための取組

- ・シンポジウム開催、地域情報ネットマップの発信、淡路島検定の実施等

○風土資産を活用する推進協議会の発足

◎淡路島民俗芸能フェスティバル 2,500千円

淡路島内の伝統芸能、創作芸能、生活創造活動など多種多様な芸能等と、それらを保存・継承する各団体の活動の発信等を図るためのイベントを、「ふれあいの祭典淡路フェスティバル（仮称）」の中心となる事業として開催